

ドメスティックな婚活に疲れ果て、国際結婚を夢見る男女が急増している!

外国人×日本人 婚活が大盛況

'00年代半ばに訪れた婚活ブームだが、結婚できない男女の間に新たな潮流が生まれている。その婚活ターゲットになっているのは外国人。ただ単に、国際結婚を夢見る「外国人好き」という、これまでの構図とは違う形で繰り広げられている「国際婚活」の大盛況な現場をレポートした!

外国人に婚活する日本人の本音とは?

土曜19時、新宿のオフイスビルの53階ラウンジを貸し切った「日韓婚活パーティー」は和やかな雰囲気ながら、男女合わせて80人の参加者で大いに盛り上がりつつあった。

「日本国内の婚活パーティーにちょっと疲れたという日本人男性が多い」と聞き、日韓婚活パーティーを企画しました。参加者の反応はみな「新鮮」というもの。育った国が違うぶん、収入や私生活の探り合いです。互いに知的好奇心を持って話せる点や、パーティー馴れした日本人女性にありがちな警戒心もないのが魅力のようで、リビ



国内の婚活ブームを通じ、「日本の家族や結婚観への失望」を持った女性が国際結婚を目指すケースもあるという

ーターも多いです」ノリノリでウイスキーのロックをガンガン空ける韓国人女性たちは場末のスナックで働いているわけではない。その多くが有名企業などで働く会社員だ。主催者側が独自のコネクションで募集をかけてきた「サザンクロス」の田中直輝氏も「当初はこんなに盛り上がると思わなかった」と言う。

「日本国内の婚活パーティーは、男女ともに悪く言えば、売れ残り感」が漂っているけど、外国人女性との婚活パーティーにはエリートも多い。逆玉を狙えるかもしれないね」と話す参加者もいた。一方、国際婚活の機運は日本人女性にも広まっている。ハワイ在住男性と日本人女性の国際結婚を支援する「マリッジ・イントロダクションズ・ハワイ」は、会員女性

性がここ5年で大きく変化しました。「ひと昔前の会員女性の属性は、年齢や離婚歴などのハンディがあり、国内では難しいから海外でという女性が多かったが、最近では20代の若い女性が非常に増えた」と代表のキーフォート氏は語る。早々に日本の婚活難に見切りをつけた女性や、六本木などで遊ぶ「外国人好き」の女性たちかと思えば、そうとも限らない。

日韓パーティを主催する「サザンクロス」では100人規模のものから、バラウンジを使った十数人参加の小規模なものまで開催 (<http://www.st-cross.net/>)

日本人女性とハワイ在住男性の国際結婚紹介業で16年の歴史と最大の会員数を持つ「マリッジ・イントロダクションズ・ハワイ」(<http://www.mih-jp.com/>)

例えば、会員の女性23歳は結婚後も自身の両親の面倒を見られる点や、出産・育児環境などを日本と比べた結果、欧米の結婚のほうに理想的に映ったという。「男性にも育児休暇があり、新生児から預けられる施設があるなど、欧米社会は育児環境の整備がパーフェクトで、男女の負担が完全に平等。移民社会のハワイは日系移民が長年培ってきた信用があり、アジアンビューティも高く評価されている点もあります」国内の婚活が「飽和」と言われて久しいなか、外国人相手の婚活は、そんなに魅力的なのか?

CASE 1

桜井理子さん(仮名・34歳) 婚活歴3年

低収入の日本人男性に辟易! セレブ駐在員に殺到する女性たち

身は北海道の下田舎という桜井さんは、上京するまで外国人を見たことすらなかった。30歳を過ぎ、焦って婚活を始めた時点では、日本人男性との結婚しか頭になかったのも当然。それが、今や外国人男性しか目に入らないという。方向転換のきっかけとなったのは、今年の春に参加した日本人同士の婚活パーティーだった。

「女性20人に対して集まった男性は、たった6人。しかもデブとかチビばかりで、年収も良くても500万円程度。女は30代も半ばに差しかかると、こんな低レベルの男

には居るしかないのかと思うと、やりきれなくなりました」20代の頃は「それなりにモテていた」と豪語する桜井さんだけに、そのギャップに衝撃を受けたという。そんなとき、よく参加していた婚活業者のホームページに、「外国人男性と日本人女性限定の婚活パーティー」という告知を発見し、興味本位で参加した。

「最初はどうせ日本人女性とやりたいだけのマッチョな黒人か、ラテン系のスケコマシの集まりだと思ってました。でも実際に行ったら、30〜40代のマジメそうな男性ばかりで驚きました。しかも、彼らはみな優しいし会話も盛り上げ上手。そこから「外国人もアリかも」と思うようになったんです」一度、外国人男性を意識し始めると、日本人男性にはない魅力ばかりが目につくようになった。特に、惹きつけられたのは経済面だ。「日本で働く外国人ってお金持ちが多い。駐在員だと特別手当がたくさんつき、ある外資系企業なんて家賃補助だけで毎月40万円も出るそうです。婚活パーティーに参加する年収300万円の日本人男性とは生活レベルが違う。多少、年齢が上でも全然アリですよ」

日本人女性が狙うのは金融系やIT系の駐在員など、あくまでセレブ男性。そのため、激しい争奪戦が繰り広げられている。「男性の大半は片言の日本語が喋れますが、英語が話せるほうが断然有利。パーティーが始まる直前まで英単語の勉強している女性もいましたし、英語の音声が出るタイプの電子辞書を持って参加しているコもいました。日本人女性おしとやかというイメージがあるのでも、パーティーでお酒が出て飲みたくないとか、相手を使ってますね」その努力は、もう日本人男性に向くことはない。



女性記者が体験!

ビンボー同士の婚活パーティーが大盛り上がり!

「このパーティーに参加している外国人はほとんどお金がないと思うよ。でも、お金なくても明るいじゃないですか。ロマみたいで自由な生活が羨ましい。私も結婚相手は、一緒に楽しくバックパッカーとかしてくれたい人がいい。年金とか全然払ってないし、将来日本にいてもロクな暮らしができなさそうだから、早く海外に脱出したいの」

セレブ男性を捕まえるため 英会話を勉強中!



今、抱っているのはカナダ人男性(38歳)という桜井さん。「彼の腹に紹介されてもいいように、もっと英語を勉強します」と気が早い

「英語が話せるほうが断然有利。パーティーが始まる直前まで英単語の勉強している女性もいましたし、英語の音声が出るタイプの電子辞書を持って参加しているコもいました。日本人女性おしとやかというイメージがあるのでも、パーティーでお酒が出て飲みたくないとか、相手を使ってますね」その努力は、もう日本人男性に向くことはない。

英会話教室が主催する外国人男性と気軽に会えるパーティーがあると聞きつけ、「あわよくば国際結婚」を夢見て、ライターM(30歳)が参加してみた。会場である渋谷のレストランバーに行く、爆音のエレキロックをBGMに、赤ら顔の外国人男性と日本人女性計200人がスシ詰め状態で大盛り上がり。すべにNOMONEY! NOHONEY!!と書かれたTシャツの白人男性に話しかけられ、片言の英語と日本語で自己紹介。

ベンさんは、来日歴半年のオランダ人(34歳)でゲーム制作会社に勤務。iPhoneアプリを作っているとか。日本の漫画やゲームに憧れていたらしく、「念願の来日だ」と英語で熱く語られたが、ほぼ理解不能。ゲームよりも結婚の話がしたいのに……。しかも、日本の電車が高すぎるからと、練馬から渋谷まで歩いて来たことが判明。さすが外国人「ノーマネー」のスケールもデカイ! 「こんな貧乏外国人しかいないのか、と肩を落としているとパーティーの常連だという派遣OLのミワさん(29歳)が話かけてくれた。



昼はOL、夜はスナックバイトという日本人女性と、自らを「オタクデス」と話すイギリス人男性のグループ